

交渉参加9カ国から見たTPP協定の意義

平成23年10月25日
外務省

※本資料は主に公開情報をもとに、9カ国にとって考えられる意義を外務省がまとめたものである。

マレーシア	<ul style="list-style-type: none">●外国市場への有利な参入条件の獲得 2020年までに先進国入りするという国家目標実現のために不可欠な年率約6%の経済成長を達成するべく、外国市場への有利な参入条件の獲得。●ASEAN内でのリーダーシップの確保 貿易ハブとしての主導権争いが激しさを増すASEAN内でTPPのような大きな貿易自由化交渉に入らないことは大きな不利益。●米国との二国間FTAの代替 米国との二国間FTA交渉が中断。米国市場へのアクセスを得る代替手段たるTPP協定に注目。
ベトナム	<ul style="list-style-type: none">●米国への更なる輸出増 米越通商協定及びWTO加盟によって、一定の輸出拡大を実現したものの、繊維製品等について二国間FTAよりも高い自由化を目指すTPP協定に入ることによって、特に米国への更なる輸出増を期待。●对中国依存からの脱却 中国以外の国による枠組みに参加することにより、巨額の貿易赤字の原因である中国との貿易に対する依存からの脱却をはかる。●市場経済国としての地位の獲得 諸外国から市場経済地位を認定してもらうことに向けた努力の一環。
シンガポール	<ul style="list-style-type: none">●国是としての自由貿易とASEANの貿易ハブとしての地位維持 中継貿易取引と関連業種、金融、運輸サービス等のハブ機能の増強に伴う更なる利益の獲得。●米との市場アクセスの再交渉 米国とはすでに経済連携協定を締結しているところ、TPPにより自国の交渉力の限界を補い追加的自由化を引き出す。●ASEAN地域への米国の関与の維持・強化及び地域での影響力の行使 中国の影響力を過度に大きくさせず、米国の持続的関与を引き出す。また、TPP協定とASEAN+をつなぎ影響力を行使。

交渉参加9カ国から見たTPP協定の意義

ブルネイ	<ul style="list-style-type: none">●参加国からの技術協力 TPP交渉を通じ新たな法整備が必要となる場所、参加国からの技術移転等における協力の提供を期待。●地域的枠組みへの参画の一環 ASEAN、APEC等地域的枠組みへの参画を重視。TPP協定交渉参加はその一環。●米国の関与の維持 TPP協定により、米国の関心を西太平洋に留めることによって、外交安全保障面でのメリットも期待。
チリ	<ul style="list-style-type: none">●対アジア貿易の活発化 経済成長著しいASEAN地域への市場アクセスが現在のところ脆弱であり、TPP協定を通じて、対アジア経済の活力をとり込むことに期待。●南米市場への入り口 自由貿易協定を幅広く結ぶことにより、チリをTPP諸国から南米市場へ通じる貿易ハブとして成長させ、経済、通商関係等を促進。●新たな世界貿易体制としてのTPP 米国を含み、かつ、多くの分野を規定するTPP協定をWTOに代わる新たな世界貿易体制になりうると位置付け。
ペルー	<ul style="list-style-type: none">●アジア太平洋自由貿易圏(FTAAP)への発展の可能性 アジア、大洋州及び南北米を包含する唯一の協定であり、包括的かつ自由化のレベルの高いTPPが、FTAAPの基盤となることを期待。●二国間FTAを締結していない国との枠組み構築 ペルー製品の市場となることが期待される豪州、NZ、ベトナム及びマレーシアとの間での枠組みの構築による市場アクセスの拡大。●チリとのライバル関係 産業・輸出構造が似ているが経済的により豊かなライバルたるチリがアジア太平洋地域における通商関係を拡大することに劣後できない。

交渉参加9カ国から見たTPP協定の意義

米国	<ul style="list-style-type: none">● アジア太平洋地域への輸出拡大及び雇用回復 アジア太平洋地域への米国の輸出を拡大し、米国経済及び雇用を回復させる。● アジア地域におけるリーダーシップ 米国の国益が、アジア太平洋地域の政治安全保障、経済及び社会的発展と不可分の関係にあるとの認識から、この地域におけるリーダーシップを維持・強化。● アジア太平洋自由貿易圏(FTAAP)への発展の可能性 FTAAPを実現するという長期目標を抱きつつ、TPP協定をFTAAPに至る道筋の一つと位置づけ、APEC域内で質の高い経済自由化という目標を共有できるコアグループを形成・拡大。
豪州	<ul style="list-style-type: none">● アジア太平洋自由貿易圏(FTAAP)への発展の可能性 TPPをプラットフォームとして、アジア太平洋地域全体が広範かつルールの一貫性のある地域的貿易協定に発展する可能性に期待。● 市場アクセスの拡大 関税の一層の削減・撤廃により、他国への市場アクセスを拡大し、天然資源、農産物等の輸出を増大する。● 国境を越えたサプライチェーンの構築 原産地規則が地域的に統一される等、豪州の輸出企業にとって、締約国間における国際的なサプライチェーンに進出する機会。
NZ	<ul style="list-style-type: none">● アジア太平洋自由貿易圏(FTAAP)への発展の可能性 TPP協定が、FTAAP等、より広い地域の経済統合に向けた先駆的な位置付けとなることに期待。● 対内投資の拡大 適切な投資ルールによる海外からの投資が国内産業を発展させ、海外の知見や技術が国内経済をさらに革新的なものとする。● 外交基本政策としてのアジア太平洋地域との関係強化 外交の基本政策の一つとして米国を含むアジア太平洋地域との関係強化を掲げ、経済連携の相手としても同地域を重視。